

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道158号 <small>まつもとはた</small> 松本波田道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自) 長野県松本市島立 至) 長野県東筑摩郡波田町石原		延長	5.3km		
事業概要	一般国道158号は、松本市と福井市を直接結ぶ唯一の幹線道路であり、日常生活・観光・産業交通は本路線のみに頼っている。松本波田道路は、中部縦貫自動車道の一部として広域ネットワークの形成や市街地の慢性的な交通渋滞の緩和などを目的として計画されたものである。					
H8年度事業化	H10年度都市計画決定	H 年度用地着手	H 年度工事着手			
全体事業費	264億円	事業進捗率	8%	供用済延長	0km	
計画交通量	17,600台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) (残事業)	総費用 (残事業/事業全体) 200/226億円 (事業費: 179/205億円) (維持管理費: 21/21億円)	総便益 (残事業/事業全体) 417/417億円 (走行時間短縮便益: 368/368億円) (走行費用減少便益: 32/32億円) (交通事故減少便益: 17/17億円)	基準年 平成19年		
感度分析の結果	事業全体・残事業について感度分析を実施					
	【事業全体】交通量変動: B/C=2.0(交通量+10%), B/C=1.7(交通量-10%) 事業費変動: B/C=1.7(事業費+10%), B/C=2.0(事業費-10%) 事業期間変動: B/C=1.8(事業期間+20%), B/C=1.9(事業期間-20%) 割引率変動: B/C=1.5(割引率+1%), B/C=2.3(割引率-1%)		【残事業】交通量変動: B/C=2.3(交通量+10%), B/C=1.9(交通量-10%) 事業費変動: B/C=1.9(事業費+10%), B/C=2.3(事業費-10%) 事業期間変動: B/C=2.0(事業期間+20%), B/C=2.2(事業期間-20%) 割引率変動: B/C=1.7(割引率+1%), B/C=2.6(割引率-1%)			
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（国道158号現道の渋滞損失時間等の削減が見込まれる） 個性ある地域の形成（主要な観光地である上高地へのアクセス向上が見込まれる）（他11項目に該当） 					
関係する地方公共団体等の意見	中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会、中部縦貫自動車道の早期建設を進める会：整備促進を要望					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクトの変更等の社会経済情勢の変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	地元設計協議を進めるとともに、周辺の道路網の整備状況を勘案し事業を進める。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	松本波田道路のアクセス道路である長野県事業波田北大妻豊科線の整備計画が決定し、（地元促進団体の要望も強くなっており）、平成20年度に説明会が実施出来れば、早期に用地買収に着手出来る見込み。					
施設の構造や工法の変更等	コスト縮減に資する調達方法の採用や新技術の積極的活用など、コスト縮減に努めるとともに工期短縮を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。